



人前と云い一人で山に入り草刈薪とりを許された」
年輩の方の話の聞くと、青年団が主催する成人の式典に招かれた15歳の少年たちは、酒をたくさん振る舞われ、多くの者が酔いつぶれていたそうです。今では考えられないことです。
時代は変わり、主催も青年団から区に変わりましたが、弓矢は今も神事の中で参列者により受け継がれています。今年も参列者全員が弓矢を引き、放った矢の行方に笑いや歓声が上がり、他の祭とは一味違った楽しい式典となりました。



今年の式典の様子

柏谷の祭

山の神

山の神(やまのかみ)は、切透しの北側の山の山頂にあります。柏谷の組でいうと、東小学校的の東側に当たる柏谷46組と29組の間に位置しています。祭神は、大山祇命(おおやまねのみこと)で、祭日は1月15日の成人の日となっています。祝日法の改正により成人の日が1月の第2月曜日となっている現在、式典は成人の日ではなく、1月上旬の日曜日に行っており、今年も1月12日(日)の午前中に行われました。



山頂に鎮座する山の神の祠

除夜祭・元旦祭



大みそかの深夜から新年にかけて、除夜祭と元旦祭の神事が日枝神社で行われました。境内には、今年も多くの人々が訪れ、初詣での参拝者には、当番組から豚汁や甘酒が振舞われました。



おもてなしをする当番組の皆さん



どんど焼き

1月12日の早朝、東中学校近くの一本松で、子供会の主催により、今年もどんど焼きが行われました。午前6時、月が煌々と輝くまだ真つ暗な中で点火されたおんびは、瞬く間に大きな炎の柱となり、夜明け前の冬の夜空を焦がしました。



あの頃の柏谷



柏谷公園の百穴



写真は、城山の上から北の方向を撮影した写真です。富士山がきれいに写っています。現在、柏谷公園になっている辺りには、丘の斜面に百穴の穴もたくさん見えます。写真の中段右手に見える四角い大きな建物は通信病院(現在のNTT東日本伊豆病院)です。この建物の付近一帯が病院の敷地でした。その鉄筋コンクリート造の通信病院の右手前にある木造2階建ての横に長い建物は、一時中学校としても使われましたが、その後静岡相互銀行(現在の静岡中央銀行)の研修所になりました。写真中段の左手、ちょうど富士山山頂の下の方に人家が建ち並んでいます。白い石積みの上に建つ倉庫のような切妻屋根の建物の手前を、柏谷口から現在の公民館前を通り柏谷公園方面へ続く道が走っています。その切妻の建物の前が三叉路の交差点になっていて、そこから右に伸びる道が堤ヶ池へ下っていく道となっています。今は道幅が変わり舗装もされたかも知れませんが、道路の位置自体は昔のままです。この写真を撮影した時期がいつなのか正確には分かりませんが、昔を知る人によれば、建物の様子から狩野川台風より前の昭和30年代の初め頃ではないかということでした。

城山が宅地造成により大きく形を変え、山も削られて低くなつてしまつたため、現在このような角度で柏谷を見渡せる場所はありません。柏谷には家が建ち並び、風景も大きく変わつてしまいました。この写真の中で変わっていないものは、ただ富士山の姿のみです。

城山の住宅地(現在)



現在の柏谷の街並み

